

2025（令和7）年度 委員会報告

保健師職能委員会

委員長 富田 倫子

1 委員会開催 6回

2 活動内容

(1) 研修会

ア 保健師職能集会（三師合同開催）

講演 「新たな看護の将来ビジョンについて」

講師 公益社団法人日本看護協会 秋山会長

イ 保健師スキルアップ研修

講演および演習 テーマ「自分の言葉で語ろう！ 私たちの活動に根付く保健師のコアバリューとコアコンピテンシー」

講師 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻教授 岡本玲子氏

内容 ・保健師の専門性を理解するために、「コアバリュー」「コアコンピテンシー」について学ぶ。

・「コアバリュー」「コアコンピテンシー」を事例から読み説き、自分自身の実践そのものが『保健師の専門性』や『保健師という職業のすごさ』であることを認識する。

・今後、保健師の基礎教育に「コアバリュー」「コアコンピテンシー」を取り入れ、保健師の専門性を学ぶ

日時 令和7年12月6日（土） 13：30～16：00

会場 栃木県総合文化センター 第4会議室

参加人数 34名

(2) 保健師ネットワーク事業及び活動の充実に関する取組

ア 栃木県保健師関係団体意見交換会

日時 令和7年10月4日（土） 13：30～15：00

会場 とちぎ健康の森 看護協会会議室

参加人数 13名

栃木県職保健師会（ひまわり会）、栃木県市町保健師業務研究会、全国保健師長会栃木県支部、とちぎ産業保健看護研究会、栃木県看護協会保健師職能委員会 以上5団体の代表

内容 情報交換、課題共有、協働できる取組に関する協議等を実施

イ ニュースレターの発行

令和8(2026)年3月

ウ 保健師になろう！パンフレットの作成

保健師の人材確保のため、若い世代に対し、保健師業務の理解を促し、興味を持ってもらうきっかけ作りとして、啓発パンフレットを作成

ホームページに掲載のほか、イベント等で配布

3 まとめ（次年度の課題）

保健師を取り巻く状況が大きく変化する中で、保健師の業務の実態や今後取り組むべき課題を明確にするとともに、保健師としての役割を遂行できるよう人材の確保、資質の向上、看護職のネットワークの強化等を図るための事業の企画、運営、評価を実施していく。